

## 第6期 第1回サポーター運営協議会 市民参加部会活動報告書

		令和4年度	令和5年度										令和6年度			
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
会議日程	部会開催日	3月22日	4月20日	5月7日 5月11日	6月8日											
	運営協議会開催日			ワークショップ												
1. センターイメージチェンジ事業																
ウィッシュツリー制作		募集開始	ワークショップ準備	5月7日	制作物の展示			制作物の展示								
月替わりパネル展示			展示団体募集	抽選・連絡	6月展示	7月展示	8月展示	9月展示	10月展示	11月展示						
2. 市民交流参加事業																
市民団体					企画概要検討	企画紹介	8/1 担当団体公募	担当団体決定 広報内容検討	10/15 公募開始	市民公募講演会						
企業					日程・内容検討											
学術					企画の概要決定	広報原稿作成	8/1 募集開始	講演準備	9月17日							
学術											企画の概要決定	広報原稿作成	12/15 募集開始	講演準備	2月下旬講演会	
「今回の検討課題」																
<p><b>1 議題</b></p> <p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業</p> <p>パネル展示(企業出展)申し込み状況確認</p> <p>企業については募集継続</p> <p>議論2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>1. 市民交流参加事業</p> <p>11月中旬予定の市民団体企画の公募概要検討</p> <p>西隆先生の講演会の準備日程について(依田委員)</p> <p>シモジマの交流会準備について(柴田委員)</p> <p>学術・教養系の方を講師とする講演会について(柴田委員)</p> <p>交流会日程検討(2023 年上半年期)</p> <p>9月17日(日) 西隆先生講演会予定</p> <p>交流会日程検討(2023 年下半年期)</p> <p>11月中旬 市民団体企画</p> <p>1月～3月 学術・教養系の方を講師とする講演会</p> <p>1月～3月 企業企画</p> <p>市民団体企画公募日程</p> <p>6,7月 企画の概要がまとまり次第 SNS 等で企画の予告開始</p> <p>8月末 講演会担当団体募集締め切り</p> <p>9月中旬 担当団体決定</p> <p>10月15日号 広報ふなばしで企画の参加者募集開始</p> <p>11月中旬 講演会当日</p>																
「前回の検討結果」																
<p>&lt;議事概要&gt;</p> <p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業</p> <p>5/7 「みんなであつくりみらいアート」の実施報告</p> <p>申し込み 15 家族中 11 家族が参加、子供 17 人、大人 12 人が参加した。アンケートの集計結果などから、サポートセンター自体が体験型のワークショップ会場として選んでいることや、子供の体験型企画のニーズが高いことが感じられた。</p> <p>パネル展申し込み状況</p> <p>市民団体については、今回の募集と選考で6月から11月までの出展団体確定。企業については応募企業がなかったため、募集を継続することとなった。6月以降に申し込みが入り次第、展示してもらう。選考結果については一覧表を作成して各団体と部会・及び協議会全体に共有する。</p> <p>議論2 次年度実施事業の準備スケジュールについて</p> <p>1. 市民交流参加事業</p> <p>西隆先生の講演会の準備日程について</p> <p>資料1 第11回市民参加部会作業スケジュールに基づいてスケジュールを確認した。5月13日に依田委員と西隆先生の打ち合わせが予定されているので、そこで決められた内容などを元にイベント案内を完成させる。内容については部会メーリングリストでmail 審議予定。</p> <p>セブンイレブンジャパンの交流会準備状況について</p> <p>セブンイレブンジャパンと船橋市の間の包括連携協定が締結されてから準備を再開することが報告された。</p> <p>シモジマの交流会準備について</p> <p>これまでは具体的な準備に入っていなかったが、セブンイレブンの交流会開催時期が定められないことから、シモジマとの交渉を開始することとなった。</p> <p>柴田委員と繋がりのある元企業人の方で大学の先生になられた方がいるので、下期の学術交流会を担当できないか打診したいという提案があり、意義なく了承された。下期の交流会は昨年の向後先生の交流会の準備スケジュールが参考になるので、それを参考に準備を進めることとなった。</p> <p>11月中旬予定の市民団体企画の公募概要検討</p> <p>5/7のワークショップを踏まえて、市民団体企画についても市民参加型のワークショップ企画を募集したい。今回の対象は子供向けだったが、大人向けのワークショップにもニーズは高いと思われる。募集対象はサポートセンター登録団体とすることで、企画の広報は登録団体対象の一斉配信メールをベースとすることになり広報船橋での募集はしないこととなった。</p>																

## 全体会での報告内容

<p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業</p> <p>1. ウィッシュツリーの制作・展示・運用</p> <p>12月から展示されていたウィッシュツリーは2月17日に撤去された。写真は部会内で共有し次の展示物の制作などに活かしてゆく。</p> <p>2. 5/7 「みんなであつくりみらいアート」について</p> <p>広報船ふなばし3月15日号にイベント案内が掲載され、募集がスタートする。完成したポスターは公民館(26館)、児童ホーム(26館)、子育て支援センター(2館)、図書館(4館)、保健センター(4館)などに掲示される。その他市民活動サポートセンターや市役所内などに掲載予定のため、70枚前後の印刷を予定している。</p> <p>(別紙案内チラシ参照)</p> <p>3. 月替わりパネル展示について</p> <p>月替わりで市民団体や地元企業を紹介するパネルを展示する企画について、募集方法について検討した。</p> <p>企画概要 一回の展示パネル数・5枚(内訳 市民団体4・地元企業1)。パネルは市民活動フェアで使用しているものを利用。一回の展示期間・1ヵ月</p> <p>応募方法 5月までに半年分(6月から11月まで)の展示希望団体を募集する。この企画についてはメールなどで案内を配信する。地元企業への周知はサポートセンター運営協議会の皆さんのご協力をお願いしたい。申し込みは市の電子申請システムを利用する予定。</p> <p>2. 市民交流参加事業</p> <p>依田さんから1月22日の交流会の報告があった。最終参加者数 39 人(予定定員32人)はテーブルを増やすことで全員受け入れた。また、講演会アンケートの集計について報告があった。</p> <p>柴田委員からセブンイレブンジャパンとの打ち合わせの進捗状況が報告され、下記のスケジュールをベースに準備を進めることとなった。</p> <p>4月中旬に企画の概要決定</p> <p>5月GW前に広報船橋用原稿提出</p> <p>広報船橋6月1日号に期間案内記事を掲載 → 参加者募集開始</p> <p>7月中旬以降開催予定</p> <p>学術企画について 依田委員から9月17日(日)開催予定の西隆先生講演会について説明があった。</p> <p>主なスケジュール</p> <p>6月中旬に企画の概要決定</p> <p>7月1日で広報用原稿提出</p> <p>広報船橋8月1日号に期間案内記事を掲載 → 参加者募集開始</p> <p>9月17日(日) 開催</p> <p>申し込み方法などについては4月以降に検討する。</p> <p>2023 年下半年期 市民団体公募企画について</p> <p>11月中旬開催予定の市民団体企画については、担当する市民団体を公募で募ることを計画している。下記のスケジュールで4月以降、準備を進めてゆく。</p> <p>6,7月 企画の概要がまとまり次第 SNS 等で企画の予告開始</p> <p>8月1日号 広報ふなばしで講演会担当団体募集開始</p> <p>8月末 講演会担当団体募集締め切り</p> <p>9月中旬 担当団体決定</p> <p>10月15日号 広報ふなばしで企画の参加者募集開始</p> <p>11月中旬 講演会当日</p> <p>交流会の内訳</p> <p>1. 学術・教養系の方を講師とする講演会 × 2回 (夏休み・冬休みがよい)</p> <p>2. 市民団体・市内で活躍する市民の方を講師とする講演会 × 2回</p> <p>(他の講演会が開催しにくい時期に担当可能な団体に講演依頼を打診する)</p> <p>3. 地元企業や船橋で事業を行っている企業・団体の関係者を講師とする講演会 × 2回 (企業にとって出やすい時期を先方に打診する)</p> <p>半年または1年間のスケジュールを決めて、定期開催化することを検討する。</p> <p>3. 発信力向上事業</p> <p>海老田委員から広報部会との協議の進捗状況が報告された。第8回部会で報告された SNS の運用準備が進められ、テスト記事の作成や新規登録団体紹介記事の取材が進められていることが報告された。2023年度の SNS の運用担当は広報部会が行うことになったことも併せて報告された。</p>
---